

年次支部協議会
平成26年3月29日開催

支 部 名	企画運営委員会 駿河台記念館	年次支部協議会 駿河台記念館		懇 親 会
		支 部 長	中 村 茂 八 郎	
白 門 二 九 会		参 与	志 邨 守 夫	中 村 茂 八 郎 志 邨 守 夫
白 門 三 二 会		支 部 長 常任幹事	岩 瀬 順 郊 永 吉 正 令	岩 瀬 順 郊 永 吉 正 令
白 門 三 三 会		支 部 長	青 山 和 夫	青 山 和 夫
白 門 三 五 会		幹 事 長	山 上 嘉 夫	
白 門 三 六 会		幹 事 長	成 清 治 道	成 清 治 道
白 門 三 七 会	庭 山 卓	幹 事 長	石 川 捷 敏	石 川 捷 敏
		支 部 長	庭 山 卓	
		幹 事 長	川 島 豊 臣	
白 門 三 九 会	柳 田 晋 次 小 竹 正 倫	支 部 長	高 橋 丈 雄	高 橋 丈 雄
		幹 事 長	柳 田 晋 次	柳 田 晋 次
		副 幹 事 長	小 竹 正 倫	小 竹 正 倫
42 年 白 門 会	鈴 木 康 二	支 部 長	鈴 木 康 二	鈴 木 康 二
		幹 事 長	小 林 定 寿	小 林 定 寿
白 門 43 会		副 会 長	矢 崎 勝	矢 崎 勝
		幹 事 長	清 水 正	清 水 正
白 門 44 会	松 木 茂 夫	支 部 長	馬 場 榮 次	馬 場 榮 次
		幹 事 長	小 林 健 一	小 林 健 一
				松 木 茂 夫
白 門 45 会	山 城 博 光	支 部 長	相 場 有 二	相 場 有 二
		幹 事 長	山 城 博 光	山 城 博 光
			平 岩 弘 邦	
白 門 46 会	増 田 晃 次 郎	支 部 長	半 澤 勉	半 澤 勉
		名 誉 会 長	増 田 晃 次 郎	増 田 晃 次 郎
白 門 53 会		支 部 長	野 田 明 利	野 田 明 利
		副 支 部 長	橋 本 靖 人	橋 本 靖 人
		副 支 部 長	高 瀬 文 秀	高 瀬 文 秀
白 門 57 ネット		支 部 長	浜 田 英 明	浜 田 英 明
白 門 58 会			欠	
白 門 63 会		支 部 長	梅 澤 博 文	
平成11年白門会		幹 事 長	久 保 良 太	

学員会事本部事務局			木 下 澄 雄 胡 麻 本 太	木 下 澄 雄 胡 麻 本 太
-----------	--	--	--------------------	--------------------

平成26年度学会の事業計画（案）

I 基本方針

1. 会員ネットワークを拡充・強化することにより、会員相互の親睦を深めること。
2. 会員と中央大学との関係を密にし、互いに満足度を高めること。
3. 中央大学の事業を支援し、母校の発展に寄与すること。
4. 既卒者からの会費増収策の推進ならびに白門支援金制度の推進。
5. 大学及び学会の将来に資するための組織・規則等の見直しと方向付け。

II 主な事業計画（重点項目）

1. 学会活動、支部支援
 - (1) 会員ネットワークの拡充・強化
 - ①会員のネットワーク構築のための情報提供
 - ②本部ホームページの充実
 - ③支部ホームページの作成・支援助成条件（トップページ・入会案内・会則・お知らせ）を満たした支部に対する助成金の交付※新規開設支部に対する支援
 - ④学会広報誌「会員時報」のさらなる充実
 - ⑤支部「記念誌発行」に対する支援。
※5年ごとに10万円を限度に支援
 - (2) 支部活動支援の強化・充実
 - ①支部活動費の補助
「支部活動報告書」の提出等、条件をクリアした支部に対し、支部活動支援強化補助金を交付する。
 - ②海外支部活動の支援
 - ③同期会（年次支部）結成支援
 - ④支部新規結成支援
 - (3) 会員サービス活動の推進
基本方針に掲げた会員ネットワーク構築のためには、「会員同士の交流」が基礎となる。そこで、会員間の交流を広げ、親睦を深める“機会”あるいは“場”として次の4つの親睦事業の推進をする。
 - ①駿河台記念館内に会員交流を深める場として白門サロン（談話室）および会議室等を提供し、学会活動を促進する。
 - ②地方拠点都市に白門サロン（談話室）を設置
会員の交流の場として、地方拠点都市に白門サロン（談話室）を設置する。
 - (4) 若年層の学会活動への参加推進
各支部を中心に、若い世代の積極的な参加を呼びかけ、会員のネットワークづくりを推進する。また、世代を超えた交流を支援する。
2. 白門支援事業の推進
前年度の白門支援金収入を財源として会員、在学生等に対する具体的な支援事業を決定し実施する。
3. 学会会則等の見直し
ワーキンググループを設置し、見直しを検討する。
4. 準会員のサポート
学会会費の代理徴収制度の導入に伴い「準会員」資格を設けた。準会員は学生であることからそれに対応したサービスの提供が必要である。そこで、在学生への積極的な支援活動・交流を通して、学会に対する理解と卒業後の同窓会組織への参画を促すための諸事業を推進する。
 - (1) キャリア支援事業の充実
 - ①各支部が主催する進路（就職）相談会への支援

※25年度実績

- ・ 地域支部主催の進路相談会
- ・ 女子学生を対象とする就職支援行事、講演会
- ・ 若手年次支部と準会員による進路相談会
- ② 大学主催の進路相談会への支援
- ③ 父母連絡会就職説明会への支援
- (2) 在学生特別表彰(課外活動に対する表彰)
- (3) 在学生への寄付講座等の支援
- (4) 父母連絡会との交流
- 5. 安定した財政基盤の確立と整備
- (1) 既卒者から会費増収策 一支部との連携 (会費納入協力費)
- (2) 白門支援金制度の推進

III 会則の定める事業内容

< 参 考 >

中央大学学会会則(抜粋)

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校中央大学の発展とその使命達成に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 奨学援助及び学術研究に対する助成
- 二 各種研究会、講演会及び見学会の開催
- 三 父母連絡会との交流
- 四 学生との交流
- 五 会報の発行
- 六 会員名簿の編纂
- 七 その他必要と認める事業

- 1. 奨学援助及び学術研究に対する助成
公益財団法人白門奨学会への寄附、大学主催の学術講演会の企画・実施
- 2. 講演会の開催に対する支援
※講師料に対する半額補助(5万円を限度)
- 3. 父母連絡会との交流
父母連絡会支部長会議等への本会役員の出席
- 4. 学生との交流
 - ① 学会会長賞の授与
 - ② 学生広報誌・父母連絡会機関誌への情報掲載
 - ③ 中大生協の年末福引への景品提供
 - ④ 卒業祝賀パーティーへの後援
 - ⑤ 卒業生への記念品贈呈
- 5. 会報の発行
- 6. 会員名簿の編纂
- 7. その他必要と認める事業
 - ① 組織の強化
 - ア 学会への入会(会費納入の依頼・促進)
 - イ 既成支部の育成・強化
 - ウ 結成を希望する支部(白門会)等への支援
 - エ 会員の表彰

② 学員との交流、サービス事業

- ア 会費納入者に「中央大学学員カード」の交付
- イ 協賛企業との提携を強化
- ウ 中央大学ホームカミングデー
- エ 白門ゴルフ大会
- オ 中央俳句会
- カ 白門囲碁大会
- キ 会報コンテスト

2014年3月29日

2013年度 学会年次支部協議会 事業報告

中央大学学会 年次支部協議会
代表幹事 小田 眞一

次の通り、2013年度の事業報告をいたします。

1. 実施された会議

開催日	事業	検討内容	備考
2013年4月13日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①前期事業報告・今期事業計画案 ②前期決算・今期予算案	懇親会
2013年6月25日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①今期事業計画(予算の確保)の検討②ホームカミングデー開催対応③年次支部の連携について	懇親会
2013年7月13日	若手意見交換会(昭和50年以降の支部役員)	①年次支部協議会の活動内容紹介 ②意見交換会	昼食会
2013年8月31日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①各委員会から中間報告 ②学会本部助成金申請について③箱根駅伝予選会応援について	懇親会:牧ひろし氏(49卒)出演
2014年1月25日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	① 会則の変更 ② 各委員会活動報告	懇親会:碓井哲雄氏(40年卒)講演
2014年3月29日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	① 2014年度執行部体制 ② 2013年度事業報告	懇親会
※執行部会議および執行部・委員長会議を適時開催			

2. 委員会等、活動報告

(1) 学生支援委員会

2013年11月16日 第2回CHUO進路相談会を開催

(2) IT化推進委員会

①ホームページの開設

②ホームページのない年次支部に対し、制作協力を提案

③広報活動(ホームページのほかメーリングリストも活用)

・会議資料を開示

・各種案内を掲示、案内

(3) 学員交流委員会

①2013年7月13日 昭和50年以後～2013支部 意見交換会

②2013年11月～2014年1年 平成会員交流会の検討

③広報活動

IT化推進委員会と連携し、各種イベント等を案内

開催月	主なイベントや活動の紹介
2013年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本伝統文化国際交流会（白門46会鷲見氏、片男波親方、柳家小団治） ・中央大学管弦楽団定期演奏会 ・「ラグビー部宇野将史君を支援する会」の募金活動（白門46会矢次氏）
2013年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門グリークラブ定期演奏会
2013年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門38会 オペラ鑑賞会
2013年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根駅伝予選会応援（予選突破） ・ホームカミングデー（雨天中止）
2013年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回CHUO進路相談会
2013年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・中央大学管弦楽団定期演奏会
2014年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根駅伝応援（各支部）、選手激励会（後楽園飯店） ・白門38会 オペラ鑑賞会
2014年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門さぎそう演奏会（世田谷区支部）

(4) 年次支部協議会（総務部）

2014年1月 会報第1号を発行しました。

3. 報告事項

- (1) 年次支部協議会の活動に対し、CHUO進路相談会の開催（学生支援委員会）、年次支部協議会事務費用（通信費・封筒印刷代）について、委員会本部より実費相当額としてそれぞれ58万円、10万円の助成金が認められました。
- (2) メーリングリストやホームページの開設、会報第1号の発行により、伝達方法が多角化し、コミュニケーションも図れ、広報活動の骨子ができてきました。いずれも好評です。ただ、タイミング的にお知らせできないものもあり、来年度の課題です。
- (3) 会則が1月に改正され、2014年度の執行部の体制は、年次支部から広く意見をいただくため、各年次支部から広く執行部役員就任をお願いし、次の年代につなげる体制をめざしています。（別紙案添付）
- (4) 2014年度事業計画、収支決算、予算（案）は、次回の全体会議（6月開催予定）で、審議をお願いします。
- (5) 残念ですが、2014年3月卒業の白門会が結成されませんでした。今後は、もう少し早い段階・・・例えば、10月開催される白門祭に年次支部協議会が協賛したり、ホームカミングデーに学生に参加してもらおう等、協力や連携を深めたいと思います。
- (6) 木下事務局長が4月1日付で、内部監査室長として多摩校舎に異動します。駅伝総監督にも就任されるとのことですので、今後、駅伝が楽しみになります。また、後任の事務局長は、清野強（50年卒）さんです。
- (7) 大学および委員会の事業概要については、別紙資料のとおりです。（柳田委員会副会長より説明させていただきます。）

以上